



3月の花：春蘭

事務所便り

令和4年3月号

特定社会保険労務士・行政書士 重村 勝弘

重村行政労務管理事務所

ご連絡先：〒235-0021

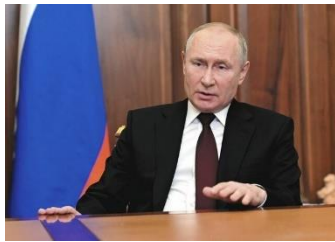
：横浜市磯子区岡村 7-8-15-102

電話・FAX：045-754-3412 携帯：070-5542-1466

E-mail：shigemura.office@etude.ocn.ne.jp

●世界は1世紀逆転したか

ロシアのウクライナに対する強圧はまさに1930年代に世界を蘇らせる風景である。そこにはスターリンがおり、ヒットラーがおり、毛沢東がおり、力による世界の征服を再現させようとするかの如くうごめいている。ロシアのプーチン大統領は「ロシア帝国の復活を目指しているのだろうか。2020年代の理性がこれらの企みを阻止できるか世界が固唾の飲んで見守っている。

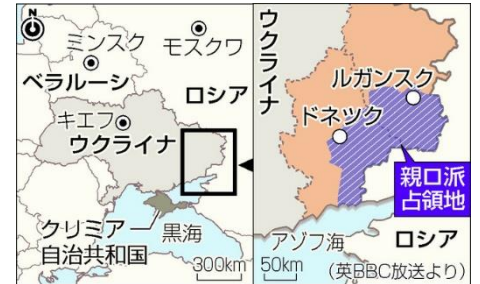


2月24日、ウクライナへの侵攻の数時間前に記者会見に現れたプーチンの目は据わっており、正常な理性ある人間の顔ではなかった。

●プーチン大統領、核兵器の行使を再び示唆「邪魔する者は歴史上で類を見ないほど大きな結果に直面するだろう」…核によるロシアの脅迫

ロシアのプーチン大統領はモスクワ時間の24日早朝、「住民を保護するため」との理由でウクライナ東部における特殊な軍事作戦の遂行を決断したと発表。テレビ演説で「外部からの邪魔を試みようとする者は誰であれ、そうすれば歴史上で類を見ないほど大きな結果に直面するだろう」と語り、核兵器の使用も辞さない構えを再び示唆した。

英紙デーリーメールは、この演説を紹介した上で「プーチン、背筋が寒くなる警告をバイデン(米大統領)とNATO(北大西洋条約機構)に発する」と報道。同日の米ニュースサイト、ポリティコ・ヨーロッパは「プーチン、核使用の選択肢」の見出しで「プーチンは核兵器をより前面に押し出し、国際法を無視し、危険性を増大させている。一握りの好戦的な指導者に希望と信頼を置くことは、核のカタストロフィー(破滅)危機を防ぐための明確な戦略ではない」と警鐘を鳴らした。同大統領は7日、仏マクロン大統領との会談で「ロシアは核保有国だ。その戦争に勝



者はいない」と、核使用の可能性について言及。同19日は、核弾頭を搭載できる大陸間弾道ミサイル(ICBM)と極超音速巡航ミサイルの大規模な発射演習を行い、「全弾が目標に命中した」と発表した。核の脅迫に西側の指導者は震え上がったか？

●米ホワイトハウス「米国はウクライナに米軍を派遣しない」と明言…ロシアは安心して侵略開始

ホワイトハウスのジェン・サキ報道官は23日、米政府は、今後、情勢がどのように展開しようと、ロシアと戦闘するために米軍をウクライナに派遣するつもりはないと述べた。

サキ報道官は、定期会見を開いた中で、「何度繰り返すことになるか分からないが、バイデン大統領が、ウクライナ領内でロシアと戦うために米軍を派遣するようなシナリオは存在しない」と明言した。

さらに報道官は、バイデン大統領はいかなる状況になろうとこの決定を変更することはないと強調した上で、「我々はロシアと戦争するつもりもなく、ウクライナに軍を派遣することもない」と強調した。

このような発言はするべきではない。この発言にロシアは安心してウクライナに侵攻した。「ブタベスト覚書」により米国はウクライナの安全保障に責任を持ちながらこのような発言をし、ロシアの侵入を誘発したことは米国外交史上最大の失敗の一つである。

米国の参戦はないと確信したロシア



は、2月24日の深夜、事前に配置した軍隊を3方向から一斉に侵入を開始した。

●ウクライナ外相「米国の安保を信じて28年間“核放棄”してきた」…「代価を払え」

ウクライナのドミトロ・クレバ外相は「1994年の核放棄決定は、賢明な判断ではなかった」として、米国に対し「当時約束していた安全保障を履行せよ」と求めた。クレバ外相は22日（現地時間）米フォックス放送に出演し「当時ウクライナが、核放棄の決定をしたのは失敗だったのか」という質問に、先のように答えた。クレバ外相は「過去を振り返りたくはない。過去に戻ることはできない」と即答を避けた。しかしその後「当時もし米国が、ロシアとともにウクライナの核兵器を奪わなかったら、より賢明な決定を下すことができただろう」と語った。1991年ソ連解体により独立した後、核兵器を保有していたウクライナは「核兵器を放棄しないこともあり得た」ということである。「クレバ外相は同日、CNNでも「1994年、ウクライナの“核放棄”のかわりに、米国が交わした安全保障の約束を守らなければならない」と求めた。クレバ外相は「1994年ウクライナは、世界3位規模の核兵器を放棄した。我々は特に米国が提示した安全保障を代価として、核兵器を放棄したのだ」と主張した。つづけて「当時我々は『誰かが我々を攻撃したら、米国が我々を助ける国の一つになる』という約束を交わした」と訴えた。米国とヨーロッパが掲げた対ロシア制裁に関しても「ロシアの土足がウクライナの地から撤収されるまでは、どのような制裁も十分ではない」として、より強力な制裁を要求した。ウクライナは1994年12月7日、米国・英国・ロシアなどと「ブダペスト覚書」を締結し、当時世界3位規模であった核兵器を放棄するかわりに、領土の安全性と独立的な主権が保障されることになった。ウクライナは1800余基の核弾頭とICBM（大陸間弾道ミサイル）を全てロシアに返還・廃棄し、1996年6月には全ての核兵器をロシアに渡し、非核化を完了した。この文書は国連安保理が履行を保証した国際的合意だが、28年経った現在、実際には効力が発揮できていないことになる。クレバ外相は、ロシアのウラジーミル・プーチン大統領がウクライナ東部の親露分離勢力であるドネツク人民共和国とルガンスク人民共和国の独立を承認したことについて「とんでもない

ことだ」と一蹴し「ウクライナはこれを認めない。全世界もまた認めないだろう」と強調した。

●ウォールストリートジャーナル社説

ブダペスト覚書は、独裁者たちが力は正義だと考える世界において、文書化された約束を信頼することの愚かさを改めて示すものだ。さらに有害なのは、核兵器を放棄する際は自国の危険を覚悟する必要があるというメッセージだ。それは北朝鮮が学んだ教訓であり、イランが核兵器開発の凍結を約束したにもかかわらず開発を画策しているのも同様の戦略だ。米国にブダペスト覚書の約束を実施する能力がないことは、米国の軍事的保証に依存する同盟国政府にもまた影響を及ぼすとみられる。日本や韓国が自前の核抑止力を持つとしても驚くには当たらない。米国人がウクライナ問題に注意を払うべき理由を知りたいと言うならば、それは核の拡散だ。裏切り行為は結果をもたらす。世界はそれを厳しい形で再び学ぶ運命にあるとみられる。【社説】ブダペスト覚書に裏切られたウクライナ

●ブタペスト覚書とは

ブタペスト覚書によると、ロシアと米国と英国は、ベラルーシとカザフスタンとウクライナが核不拡散条約の加盟国になったことを認め、実際には核兵器をロシアに引き渡すことで、彼らは次のようにする。

1. ベラルーシ、カザフスタン、ウクライナの独立と主権と既存の国境を尊重する¹。
2. ベラルーシ、カザフスタン、ウクライナに対する脅威や武力行使を控える。
3. ベラルーシ、カザフスタン、ウクライナに政治的影響を与える目的で、経済的圧力をかけることは控える。
4. 「仮にベラルーシ/カザフスタン/ウクライナが侵略の犠牲者、または核兵器が使用される侵略脅威の対象になってしまう」場合、ベラルーシ、カザフスタン、ウクライナに支援を差し伸べるため即座に国連安全保障理事会の行動を依頼する。
5. ベラルーシ、カザフスタン、ウクライナに対する核兵器の使用を控える。
6. これらの誓約事に関して疑義が生じた場合は、互いに協議を行う。

このような覚書を交わしながら約束を守らなかった米国の信頼は地に落ち、米国と安全保障協定を結んでいる国々の間に不信感が持ち上がるだろう。

付録

飛び始めた花粉…花粉症対策はバッチリです

か？

くしゃみ、鼻水、眼のかゆみなど、花粉症の症状が気になり始めた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。例年、2月から飛散し始める花粉への対策をご紹介します！

○換気を工夫する

1時間に5分程度の換気を行うことが望ましいと言われていますが、花粉対策としては花粉の飛散量が少ない夕方から夜の間換気することがおすすめです。また、窓を数センチ程度開ける際には、カーテンや網戸を閉めることで花粉の侵入をやや抑えることができます。

○外出時の髪形、服装を工夫する

帽子をかぶったり髪をまとめることで花粉の付着を減らすことができると言われています。また、花粉が付着しやすいウール素材の服装は避け、生地がスベスベしたポリエステル素材の服装を選ぶとよいでしょう。

○花粉症を和らげるのに効果的な食事をする

ヨーグルト：乳酸菌の働きにより腸内環境が整い、免疫機能改善が期待できます。

魚：青魚に多く含まれる EPA・DHA がアレルギー反応を抑制する働きがあると言われています。

ビタミン A・C・E（エース）：アレルギー症状の悪化を抑えることができると言われています。

- ・ビタミン A...緑黄色野菜、レバー、うなぎ等
- ・ビタミン C...キウイ、いちご、ブロッコリー等
- ・ビタミン E...ナッツ類、アボカド、かぼちゃ等

花粉症は日常の小さな対策で症状を軽くできる可能性があります。花粉症でない方も、何らかのきっかけで花粉症になる可能性がありますので、しっかりと対策をしましょう！